

平成18年度西海ブロック水産業関係研究開発推進会議  
海区水産業研究部会報告書

会議責任者	西海区水産研究所長
-------	-----------

1 開催日時及び場所 日時 平成18年11月7日(火) 13:30-17:15  
場所 西海区水産研究所大会議室

2 出席者所属機関及び人数 9機関36名

3 結果の概要

議 題	結 果 の 概 要
開会	西海区水産研究所海区水産業研究部長が開会を宣言。
挨拶	海区水産業研究部長から、本部会の開催趣旨の説明を含めた挨拶があった。
座長選出	西海区水産研究所有明海・八代海漁場環境研究センター長を座長に選出。
議事	
1) 研究開発の実施状況	資料に基づき各機関の実施課題について質疑を行った。予算区分の記載で税源移譲分の取り扱いについて質問があり、本部に確認の上、後日連絡することとした。
2) 研究開発の成果	海区部会関係の8題のうち、福岡県の課題については海洋環境部会で、沖縄県の2題は亜熱帯水産業研究部会で議論することとし、紹介のみが行われた。 佐賀県の「唐津湾におけるクルマエビの放流効果について」および「養殖ノリにおける生ノリと乾ノリの色調評価およびその相互関係」に関しては、研究戦略該当項目への記載を検討の上、推進会議に提案することとなった。 長崎県の「有明海で大量放流したトラフグ人工種苗の産卵回帰について」については、一部文言を削除のうえ、推進会議に提案することとなった。

議 題	結 果 の 概 要
<p>3) 研究開発のニーズと具体的な取り組み</p> <p>① 魚介類研究会報告</p> <p>② ノリ問題研究会報告</p> <p>③ 平成17年度までの研究ニーズへの対応</p> <p>④ 平成18年度研究ニーズへの取り組み方針</p>	<p>長崎県の「有明海特産種貝類クマサルボウ人工種苗の大量生産技術開発について」については、図に関する修正、印刷物・HP への公開の可否および「成果の内容・特徴」の文頭の中見出しについて確認の上、推進会議に提案することになった。</p> <p>西海水研の「長崎市周辺に分布する暖海性ホンダワラ類の形態・生態的特長の把握」については、推進会議に提案することとなった。</p> <p>熊本県からアサリ放流マニュアルについて紹介が行われた。</p> <p>5月に開催した同研究会について、定着性魚介類の増殖技術に関する4題の話題提供、グミやガンガゼへの取り組み結果の紹介および藻場に関する課題化に向け、関係機関が連携して取り組むことが決定された旨の報告があった。課題化に関連して「技術会議高度化事業」の申請に向けたスケジュール等について西海水研から説明があった。</p> <p>6月に開催した同研究会について、品種登録出願の取り組みなど2題が話題提供されたこと、各機関のノリに関する調査研究の取り組み状況が報告されたこと、今後の当研究会の扱いについて関係機関の連携を図りつつ、具体化することとしたことなどが報告された。</p> <p>平成14～17年度までの研究ニーズのうち、18年度に対応を委ねられた5グループ（栽培対象資源、磯根資源、藻場、有明海・八代海、その他）のニーズについて、17年度の対応方針に沿った対応を行った旨、報告があり、今後の取り扱いを協議した。その結果、これらのニーズは対応方針に沿った取り組みがなされていることから終了とし、今後新たな研究ニーズとして取り扱う必要がある場合には、課題内容を絞った上で再提案することとした。</p> <p>18年度提案ニーズはタイラギなどの有明海関係の5つのテーマが提出された。これらのうち、タイラギ、アサリ、粘質状浮遊物については、すでに取り組み中であり、今後も継続して調査研究を進める予定であることから、その結果を見極めた上でさらに取り組みが必要か検討することとした。</p>

議 題	結 果 の 概 要
<p>4) その他</p> <p>①西海ブロック推進会議部会の再編</p> <p>②ノリ問題研究会の今後の運営</p> <p>閉会</p>	<p>有明海におけるエチゼンクラゲの動態については、19年度に 関係機関が連携して調査を行う方針とした。ガザミの移動生態の 調査研究については、当部会研究会等の場で情報交換を行い、西水研 および関係各県の協力体制を検討することとした。従ってこれらに ついては、ニーズとしての取り扱いは終了とすることとした。</p> <p>現状の5部会を漁業資源・海洋環境部会、地域増養殖研究部会、有明海・八代海特別研究部会の3部会に集約し、効率化を図る旨、説明した。これに伴い、亜熱帯水産業研究部会は廃止し、必要に応じて研究会を立ち上げることを説明した。本件については、西海ブロック推進会議で協議される。</p> <p>西海ブロック推進会議での提案を受け、開催したノリ問題研究会（仮称）について、全国レベルでの研究者の交流という位置づけに鑑み、水研センターが主催する「全国ノリ研究会（仮称）」として、幹事会を置き、事務局を西海水研有明海・八代海漁場環境研究センターとして、運営する案を説明した。本件の取り扱いについては、関係する推進会議での説明を経て、全国推進会議で協議される。</p> <p>海区水産業研究部長が閉会を宣言。</p>